

奉 仕

◆宮坂建設工業グループ(帯広市、宮坂寿文社長)の清掃奉仕活動



11日、帯廣神社と十勝護国神社境内で行われ

た。

同社グループの地域貢献活動として1995年に始まり、19回目。この日は6社から役員約250人が参加した。

「どんと焼き」で出た大量の灰をスコップで袋に詰めて片付けた。写真に他、手分けして落ち葉や枝なども拾った。

同社の有川進副社長は「十勝に根を張り、昨年90周年の節目を迎えた。今年は100周年に向けた第一歩。グループの一致団結のため、心を込めて奉仕活動に取り組んだ」と話した。終了後は境内で安全祈願も行った。

### 宮坂建設工業グループ

## 感謝の気持ち込め清掃

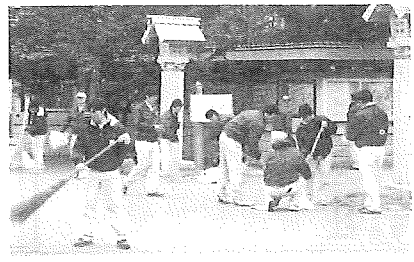
帯広神社と十勝護国神社で250人

【帯広発】宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)など宮坂建設工業グループ

は十一日、帯広神社と十勝護国神社を清掃した。地域への感謝の気持ちを込め、二百五十人が境内、参道などを清掃した。写真。

地域貢献の一環として、七年から行っているもので、今回が十九回目。宮坂建設工業のほか、(株)平田建設(十勝、野中栄忠社長)、(株)寿エンジニア(帯広、小林俊昭社長)、(株)松本組(函館、堀岡眞吾社長)など六社の役員約二百五十人が参加した。

はじめに宮坂建設工業の有川進副社長があいさつ。「ことは創業百周年に向けた新たな一歩の年。グループの一致団結のための活動として、きょうは心を込めて奉仕活動を行ってほしい」と呼びかけた。敷地が広いため、あらかじめグループごとに担当範囲を決めて実施。ごみや枯れ枝、どんと焼きで出た大量の灰をゴミ袋に詰めた。清掃終了後、参加者全員が帯広神社本殿前に集まって安全祈願。あいさつした宮坂社長は、グループの層の発展を求めるとともに、ことし一年の無事故・無災害の達成に向けた決意を述べていた。



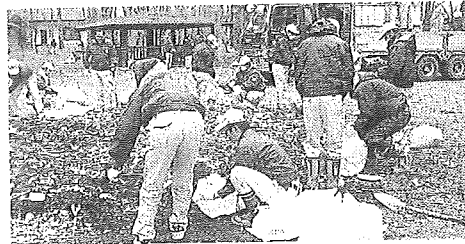
## 北海道建設新聞

2013年(平成25年)5月14日(火曜日)

### 帯広神社などで清掃活動に汗

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業(本社・帯広、宮坂寿文社長)は11日、帯広神社と十勝護国神社で清掃活動に取り組んだ。写真。



1995年から実施している地域貢献活動。ことしはグループ企業の松本組、平田建設、寿エンジニアらも含め約250人が参加した。有川進副社長は「ことし、100周年に向けた第一歩を踏

み出す。グループ一致団結の行事。心を込めて活動を」と呼び掛けた。

参加者は、どんと焼きで発生した灰を撤去したほか、ごみや枯れ枝などを拾い集めた。10年以上、灰の撤去に当たっている宮坂建設工業土木部の樽見真人さんは「地域のためにひたすら頑張る」と話していた。

終了後には帯広神社で安全祈願を行い、無事故無災害を祈った。